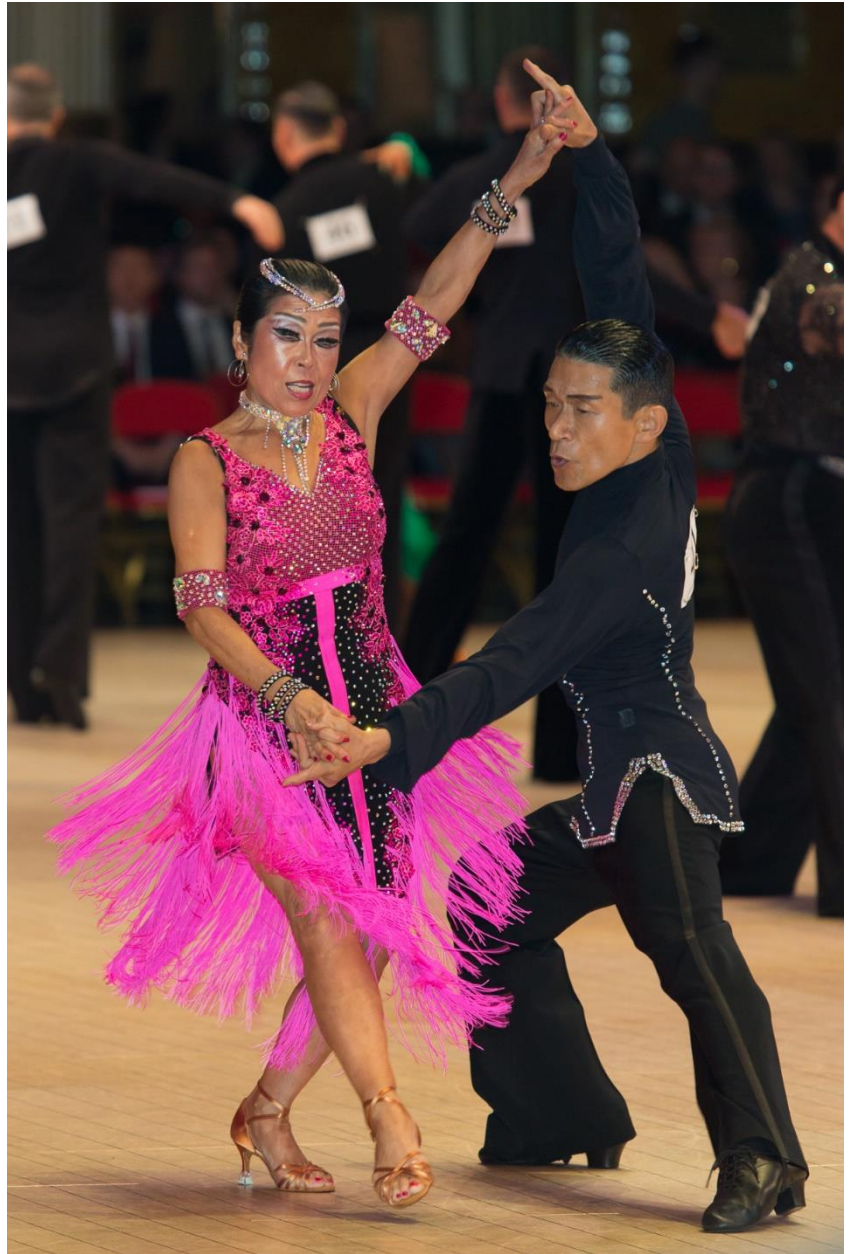


## OVER50 ラテン部門出場

### 濱田穰・のり子組

最も歴史ある大会といわれるダンスフェスティバル、シニアラテン 50 オーバーに出場しました。( 2018 年からのようです )

はじめてダンスをした時はお互い独身。その後、月並みですが共に同じ道を歩み、子育てをしながら仕事とダンスの同時進行という生活に踏み切りました。しかし子育て中はダンスを断念、小休止しておりましたが子供が社会人になりダンスを本格的に再開いたしました。生活の潤滑油としての役割は大きくその思いは現在も変わりありません。そして徐々に、ダンスの最高峰、ブラックプールダンスフェスティバルの憧れはいつか、ウインターガーデンの会場に立ってみたいと思っていたところ、2017 年 10 月 29 日アマチュア統一全日本ダンス選手権シニア 35 2 位。2017 年 11 月 12 日イーストジャパン選手権大会シニア 35 優勝する事ができ、背中を押して頂きました。しかし憧れの聖地で自分たちのダンスを踊るにあたり今以上にポイントを絞り込み重点的に練習をしないとダンスに見えないとの結論に至りました (しかし簡単にいくはずはありません(笑)) 私たちの弱いところ、フロアーにおいては、面にたいして立ち方や顔や視線の認識が甘く、何処を見ているかわからない。また、体重移動の時どちらの足に重心があるかなどテクニックの足らなさもありそして音楽よりリズムが早くなる傾向もありたくさん曲をききました。練習は嘘をつかないと聞いた事があります。自分を信じる事にしました。さらに JAL 講習会では身体の部位は楽器にたとえて表現する奥深さはとても感銘を受けました。ルンバの多様な曲に関して、顔の表情、手の振り、ネックの返し、二人の空間、曲に合わせた表現を自分で考えて工夫するアドバイスは新鮮に感じる事ができました。ブラックプールに行くにあたり「地球の裏側まで行くのですから、楽しむ」というフレーズは確かにと思い、とても支えになりました。さて私たちの試合では重厚感のある会場で普段通りに、自然体と思



っていましたが力も入り、自分の身体でないような…。曲に追いかけてられている感覚は修復できませんでした。二次予選は通過しましたが、準決勝に進むことができませんでした。最大の楽しみプロラテン観戦では聞きに勝るとも会場の大歓声に沸く雰囲気と選手と観客の一体感は素晴らしくとてつもない高揚感に浸ることができました。私たちはブラックプールで最終章にしようと考えていましたが、また新たな目標を見つけ、第二楽章のスタートに立つことに致しました。応援して下さいました、JAL の会長様はじめ、関係者の皆様、日本選手の皆様ありがとうございました。